

苫小牧市一般廃棄物処理基本計画【改定版】(案) 概要版

1. 計画策定の背景

- 苫小牧市一般廃棄物処理基本計画は、平成22年に当初計画を策定し、平成28年に中期計画の改定を行い、これらの計画に基づき、ごみの発生・排出削減及びリサイクルに関する様々な取組を推進してきました。
- 本市のごみ排出量は、平成25年の家庭ごみ有料化を機に減少が進み、平成31年の糸井清掃センター廃炉に結びつきました。近年のごみ量は、横ばいで推移していますが、昨年来の新型コロナウイルス感染症の影響により、ごみの組成等が大きく変化し、令和2年度のごみ排出量は前年と比べ大きく増加しています。
- 今改定は、令和6年度までの後期計画を時点修正し見直しするものですが、先般実施したパブリックコメント（市民意見提出手続）において、コロナ禍の影響下にある直近の実績を考慮し最終目標値を設定するべきとの意見が寄せられました。
- 現時点では、コロナ禍の収束を見通せない状況にあり、今後のごみ排出量の予測が難しいこと等を考慮し、まずは現下のごみ量をコロナ禍以前の水準まで戻すことに注力するべきとの考えのもと、本計画（案）を策定しました。

2. 基本理念

- 「053（ゼロごみ）のまち とまこまい」の基本理念を継続します。
- 引き続き、市民・事業者・行政の三者が協働し、ごみの発生抑制（リフューズ）、排出抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）という4Rの推進を図り、更なるごみの減量やリサイクルの推進に努めます。

3. 中期計画における目標値の達成状況

- 中期計画の目標値とその達成状況について、令和元年度時点で令和2年度の中期目標はすべて未達であり、③「事業系ごみ排出量」以外の指標については、目標達成が困難な状況です。

指標	単位	実績	中期計画の目標値	
			中期目標	後期目標
		R1	R2	R6
①ごみ排出量	t/年	56,493	55,300	53,400
②家庭ごみ排出量	g/人日	550	530	520
③事業系ごみ排出量	t/年	22,153	22,100	21,400
④リサイクル率	%	31.2	32.0	33.0
⑤焼却処理量	t/年	49,398	47,200	45,300
⑥最終処分量	t/年	9,288	8,200	8,000

4. 基本方針

本計画の基本理念である「053（ゼロごみ）のまち とまこまい」の実現に向けて、基本方針を次のとおり定め、各種施策を継続して推進します。

1 4Rの推進によるごみの減量
市民・事業者市民・事業者・行政が一体となり、リフューズ、リデュース、リユース、リサイクルの「4R」を推進し、ごみの減量に取り組みます。
2 市民との情報共有と環境教育の推進
ごみの減量とリサイクルの推進及び、まちの環境美化に向けて、市民との情報の共有を進めるとともに、学童期及び幼児期からの環境教育を推進します。
3 環境負荷の軽減を目指す効率的なごみ処理事業の推進
循環型社会の構築に向け、ごみの減量やリサイクルの推進とともに、効率的な収集運搬体制や適正な規模の処理施設の確保に努めます。

5. 基本目標（数値目標）

(1) 1人1日当たりの家庭ごみ排出量

- 1人1日当たりの家庭ごみ排出量は、平成25年の有料化を契機に大きく減少し、近年は550g前後で推移していましたが、昨年来のコロナ禍の影響により、令和3年3月末時点は579gまで増えると推測しています。
- 現時点では、今後のコロナ禍の影響を見通すこと及び、将来のごみ量の予測も難しいことから、まずは令和3年度にコロナ禍以前の550g/人日を目指します。
- さらに、過去最小値である540g/人日まで削減し、令和4年度から5年度にかけてこの排出量を維持しながら、生ごみ減量や食品ロスなどの対策をあらゆる角度から検討し、計画最終年度における当初の目標値520g/人日の達成を目指します。

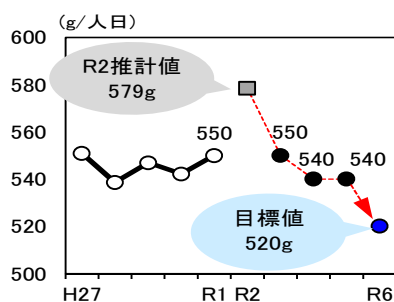
(2) 事業系ごみ排出量

- 事業系ごみ排出量は、近年、減少傾向で推移しており、令和2年度はコロナ禍の影響によりさらに減少する見込みです。
- また、令和3年度以降の影響を見通すことは困難であるため、中期計画の目標値を据え置くものとし、令和6年度に21,400t/年の達成を目指します。

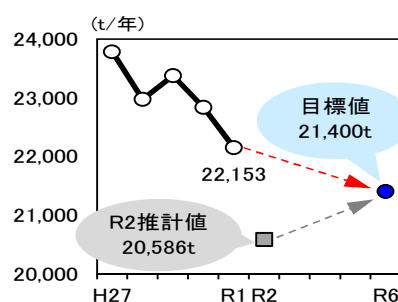
(3) リサイクル率

- リサイクル率は、近年、緩やかな増加傾向で推移しており、更なるリサイクル率の向上に向けて、中期計画の目標値を踏襲することとし、令和6年度に33.0%の達成を目指します。

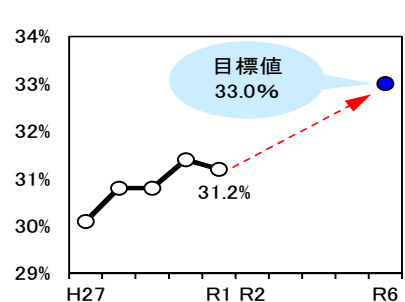
指標	単位	実績	目標値	備考
		R1	R6	
①1人1日当たりの家庭ごみ排出量	g/人日	550	520	約30g/人日の減量
②事業系ごみ排出量	t/年	22,153	21,400	約750t/年の減量
③リサイクル率	%	31.2	33.0	1.8ポイントの増加



【①家庭ごみ排出量】



【②事業系ごみ排出量】



【③リサイクル率】